

# 医師・看護師・介護職員的大幅増員を 日本医労連増員闘争ニュース

第 132 号  
2011 年 5 月 16 日  
日本医労連増員闘争本部  
TEL: 03-3875-5871  
FAX: 03-3875-6270

## 5月14-15日、ナースウエーブ満開



14日は青森、岩手、山形、福島、千葉、山梨、三重、滋賀、京都、和歌山、岡山、広島、愛媛、福岡、熊本、大分、沖縄で、15日は秋田、富山、岐阜、愛知で行われました。



山梨は、午後1時間の行動を36名で行い、218筆集め読売・NHKの2社の取材を受けました。



熊本県医労連は、70名参加で学習会（①放射能って何だろう／熊本大学大学院助教：肥合康弘氏、②TPPは医療・介護に大影響／日本医労連・中野）を行ったあと、宣伝行動を行いました。56名参加、1時間でなんと906筆！！学生が「めんどくさか〜」などと言おうもんなら「何がめんどくさか、あんたらも病気すつとつ」と宝の囲い込み。それでもみんな笑顔の楽しく元気な行動でした。



熊本のみなさん



何がめんどくさか〜！





街頭で署名への協力を求める看護師  
熊本市の大通アーケード

**看護師増員へ  
署名呼び掛け**  
熊本市で県医労連  
看護師の労働条件改  
善を訴える「2011  
ナースウェーブ熊本」  
が14日、熊本市中心部  
であり、看護師や医師  
の増員を求める国会請  
願署名への協力を呼び  
掛けた。

12日の「看護の日」  
つながる」と訴えた。  
前後に毎年、県医労連  
が開催している。大通  
アーケードで看護師ら  
約30人が「医師・看護  
師・介護職員を増やし  
て」と書いた横断幕  
を掲げ、「長時間労働  
で看護師の7割が慢性  
疲労状態」「看護師や  
医師を増やすことは、  
命と健康を守ることに

2011年5月15日付 熊日

同市手取本町のくま  
もと県民交流館パレ  
アでは、環太平洋連携協  
定（TPP）が医療現  
場に及ぼす影響や放射  
線被ばくのリスクにつ  
いての講演もあった。  
(楠本佳奈子)



沖縄のみなさん



参加者 64 名の沖縄ナースウェーブ。

来賓として初めて県看護協会が参加しました。宮里光子副会長は、「本来なら来賓ではなく、一緒に行動しなければならぬと感じている。看護師の厳しい現状を変えて、働き続けていける環境をつくるために共に頑張ってまいりましょう」と挨拶されました。

日本医労連から田中千恵子中央執行委員長が「いきいきと誇りを持って働き続けるために」のテーマで講演しました。

学習会後は、県庁前の県民広場で署名宣伝行動を行い、1 時間で 471 筆の署名を集めました。